

2020年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 クックパッド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2193 URL <https://info.cookpad.com/>  
 代表者（役職名） 代表執行役（氏名） 岩田 林平  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役（氏名） 犬飼 茂利男 (TEL) 03-6368-1000  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	8,103	△6.8	144	△81.8	138	△81.3	△187	—	116	△76.5	△610	—
2019年12月期第3四半期	8,697	△1.3	793	△61.4	740	△64.0	172	△73.5	493	△29.3	△236	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2020年12月期第3四半期	1.07		1.07									
2019年12月期第3四半期	4.59		4.59									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	26,157	24,227	23,071	88.2
2019年12月期	27,205	24,821	23,363	85.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しみにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2020年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	107,429,400株	2019年12月期	107,429,400株
2020年12月期3Q	4,011株	2019年12月期	3,961株
2020年12月期3Q	107,425,405株	2019年12月期3Q	107,425,439株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

サマリー情報「3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)」に掲げた理由から、業績予想については記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(6) 継続企業の前提に関する注記	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2020年12月期第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）の業績は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	2020年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
売上収益	8,697	8,103	△6.8%
営業利益	793	144	△81.8%
税引前四半期利益	740	138	△81.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	493	116	△76.5%

当社グループは「毎日の料理を楽しむにする」というミッションの下、日本のみならず世界中の料理のつくり手を増やすべく、料理に関する様々な課題解決に向けた積極的な投資を行っています。このミッションについて、当社グループの事業活動の目的・存在意義を明確にするため、定款に「当社は、『毎日の料理を楽しむにする』ために存在し、これをミッションとする。」「世界中のすべての家庭において、毎日の料理が楽しみになった時、当社は解散する。」という記載をしています。

世界中の人々の生活は資本主義体制の中で非常に豊かになりました。貧困に悩む人は減り、医療技術の革新により人類の寿命は長くなりました。しかしながら、生活は豊かになりましたが、肥満や生活習慣病、バーチャルな人間関係の偏重がもたらす心の病は増加しました。また、「地球」の健康という意味でも、CO2排出量の増加、オゾン層の破壊、土壌や海洋の自浄作用を超えた汚染等大きな犠牲を払ってきました。

外食やデリバリーの普及によって、安くて美味しいものが手軽に食べられるようになりましたが、それらの食品を流通させるために、多くの森林が伐採され、ゴミも増え続けています。結局、今まであった問題を解決する中で、また新たな問題を作っているに過ぎないのではないかと当社グループは考えています。

ひとの健康に必要なものは、食事、運動、睡眠といわれています。世界でもっとも頻度高く行われている社会活動は、家族での食事です。つまり食は、地球にも、ひとにも、社会にも大きな影響を与えているといえます。この食の良し悪しが地球と、ひとと、社会のこれからの分岐点になると思っています。

当社グループは、食の世界を良くするには、「つくり手を増やすこと」だと考えています。資本主義社会では、どうしても利益の追求が優先され、結果、地球の未来を犠牲にすることが多くなりますが、つくり手になると様々な「気づき」が増え、より正しいと思う考えに基づいて「自ら変える力」が強くなります。「つくり手」で居続けてもらうためには、料理が楽しみに、それも、毎日楽しみになる仕組みづくりが必要だと思うのです。料理をもっとクリエイティブで楽しいものにしたい。「つくること」をワクワク楽しいことにしたい。「作業」ではなくどどんうまくなるものにしたい。料理をとおして、他の人とのつながりが楽しみとなり増えていくようにしたい。そんな風に考えています。

世界中の70億人のなかには、すでに料理を楽しんでいる「つくり手」がたくさんいます。そのひとたちのエネルギーや、知恵や、思いや、気持ちがお互いを励まし助けになるようなコミュニティをつくりたいと思っています。当社グループは地球、ひと、社会、の健康を「毎日の料理を楽しむにする」ことによって実現していきます。

当第3四半期連結累計期間における売上収益は8,103百万円（前年同期比6.8%減）となりました。これは主にその他売上において、通信キャリアとのレベニューシェア型の売上収益がサービス終了に伴い減少したこと、および国内レシピサービス広告売上において、ネットワーク広告の販売単価が下落し、売上収益が減少したことによります。販売費及び一般管理費は7,680百万円（前年同期比1.0%減）となりました。これは主に、新規事業にかかる人員数や費用は増加したものの、新型コロナウイルスの影響により旅費交通費や研修費が減少したこと等によります。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は144百万円（前年同期比81.8%減）となりました。また、税引前四半期利益は138百万円（前年同期比81.3%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、法人税等を計上した一方で、CookpadTV株式会社において非支配持分に帰属する四半期損失が発生したことにより、116百万円（前年同期比76.5%減）となりました。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする事業」の単一セグメントであります。売上収益の内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	2020年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
毎日の料理を楽しむにする事業	8,697	8,103	△6.8%
国内レシピサービス会員売上	5,546	5,485	△1.1%
国内レシピサービス広告売上	2,148	1,928	△10.2%
その他売上	1,003	689	△31.3%

当第3四半期連結累計期間における国内レシピサービス会員売上は5,485百万円（前年同期比1.1%減）となりました。新型コロナウイルス感染拡大期に行ったプレミアムサービス入会無料施策は好調だったものの、有料会員への流入が限定的であったこと等によります。

当第3四半期連結累計期間における国内レシピサービス広告売上は1,928百万円（前年同期比10.2%減）となりました。これは主にネットワーク広告の販売単価が下落したこと等によります。

当第3四半期連結累計期間におけるその他売上は、689百万円（前年同期比31.3%減）となりました。これは主に通信キャリアとのレベニューシェア型の売上収益が減少したこと等によります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び資本の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,048百万円減少し、26,157百万円となりました。このうち、流動資産は484百万円減少し、24,927百万円となり、非流動資産は563百万円減少し、1,229百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動資産については、主に為替の円高影響等により現金及び現金同等物が676百万円減少したことによるものです。非流動資産については、減価償却等により有形固定資産が472百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ453百万円減少し、1,929百万円となりました。このうち、流動負債は21百万円減少し、1,407百万円となり、非流動負債は432百万円減少し、522百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、非流動負債については、リース負債の返済により、リース負債が391百万円減少したことによるものです。

#### (資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ594百万円減少し、24,227百万円となりました。この主な要因は、為替の円高影響等によりその他の資本の構成要素が407百万円減少したこと、非支配持分が303百万円減少したこと及び利益剰余金が116百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ676百万円減少し、22,428百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、357百万円となりました。この主な要因は、税引前四半期利益138百万円、減価償却費及び償却費407百万円を計上したこと、営業債権及びその他の債権が161百万円増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、202百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出136百万円が生じたことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、332百万円となりました。リース負債の返済による支出292百万円が生じたことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しむにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境等の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2020年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、開示を行っていません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,105,395	22,428,686
営業債権及びその他の債権	1,820,744	2,068,783
その他の金融資産	26,560	7,531
棚卸資産	24,641	94,316
その他の流動資産	434,718	328,193
流動資産合計	25,412,057	24,927,509
非流動資産		
有形固定資産	923,150	450,764
のれん	140,920	140,920
無形資産	334,869	282,215
その他の金融資産	314,692	291,002
繰延税金資産	49,780	49,286
その他の非流動資産	29,961	15,424
非流動資産合計	1,793,372	1,229,612
資産合計	27,205,429	26,157,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	385,151	344,580
営業債務及びその他の債務	715,170	723,974
その他の金融負債	51,765	42,100
未払法人所得税等	6,015	42,095
その他の流動負債	270,647	254,583
流動負債合計	1,428,749	1,407,331
非流動負債		
借入金	40,000	—
リース負債	721,624	329,681
その他の債務	15,726	14,916
引当金	173,022	173,235
繰延税金負債	4,787	4,787
非流動負債合計	955,159	522,620
負債合計	2,383,908	1,929,951
資本		
資本金	5,286,015	5,286,015
資本剰余金	7,194,224	7,194,224
利益剰余金	11,112,155	11,228,172
自己株式	△2,008	△2,022
その他の資本の構成要素	△227,190	△634,517
親会社の所有者に帰属する持分合計	23,363,196	23,071,871
非支配持分	1,458,326	1,155,298
資本合計	24,821,521	24,227,169
負債及び資本合計	27,205,429	26,157,120

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	8,697,820	8,103,261
売上原価	△67,736	△287,954
売上総利益	8,630,084	7,815,307
販売費及び一般管理費	△7,756,138	△7,680,526
その他の収益	12,019	14,091
その他の費用	△92,204	△4,087
営業利益	793,762	144,785
金融収益	4,680	7,870
金融費用	△58,342	△14,430
税引前四半期利益	740,099	138,225
法人所得税費用	△568,042	△325,235
四半期利益又は四半期損失 (△)	172,057	△187,010
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	493,744	116,017
非支配持分	△321,687	△303,027
四半期利益又は四半期損失 (△)	172,057	△187,010
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.59	1.07
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	4.59	1.07

## 第3四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	2,911,162	2,701,363
売上原価	△26,780	△112,669
売上総利益	2,884,382	2,588,694
販売費及び一般管理費	△2,545,802	△2,729,444
その他の収益	1,609	4,725
その他の費用	△3,190	△1,296
営業利益又は営業損失(△)	336,999	△137,320
金融収益	1,739	838
金融費用	△28,308	△13,389
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	310,430	△149,871
法人所得税費用	△200,070	△22,187
四半期利益又は四半期損失(△)	110,360	△172,058
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	204,019	△63,666
非支配持分	△93,659	△108,392
四半期利益又は四半期損失(△)	110,360	△172,058
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり当期利益(△損失)(円)	1.89	△0.59
希薄化後1株当たり当期利益(△損失)(円)	1.89	△0.59

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益又は四半期損失 (△)	172,057	△187,010
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	—	△3,223
純損益に振り替えられることのない項 目合計	—	△3,223
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の換算差額	△408,692	△420,278
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△408,692	△420,278
税引後その他の包括利益	△408,692	△423,501
四半期包括利益	△236,635	△610,511
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	85,052	△307,484
非支配持分	△321,687	△303,027
四半期包括利益	△236,635	△610,511

## 第3四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益又は四半期損失(△)	110,360	△172,058
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	—	311
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	311
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△216,806	162,145
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△216,806	162,145
税引後その他の包括利益	△216,806	162,456
四半期包括利益	△106,445	△9,602
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△12,787	98,790
非支配持分	△93,659	△108,392
四半期包括利益	△106,445	△9,602

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2019年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	12,428,820	△2,008	△434,304	24,472,747	1,842,619	26,315,367
会計方針の変更の影響	—	—	△347,941	—	—	△347,941	—	△347,941
2019年1月1日時点の再表示後残高	5,286,015	7,194,224	12,080,879	△2,008	△434,304	24,124,806	1,842,619	25,967,426
四半期利益又は四半期損失(△)	—	—	493,744	—	—	493,744	△321,687	172,057
その他の包括利益	—	—	—	—	△408,692	△408,692	—	△408,692
四半期包括利益合計	—	—	493,744	—	△408,692	85,052	△321,687	△236,635
株式報酬取引	—	—	—	—	9,054	9,054	—	9,054
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	9,054	9,054	—	9,054
2019年9月30日時点の残高	5,286,015	7,194,224	12,574,623	△2,008	△833,942	24,218,912	1,520,932	25,739,844

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2020年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,112,155	△2,008	△227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
会計方針の変更の影響	—	—	—	—	—	—	—	—
2020年1月1日時点の再表示後残高	5,286,015	7,194,224	11,112,155	△2,008	△227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
四半期利益又は四半期損失(△)	—	—	116,017	—	—	116,017	△303,027	△187,010
その他の包括利益	—	—	—	—	△423,501	△423,501	—	△423,501
四半期包括利益合計	—	—	116,017	—	△423,501	△307,484	△303,027	△610,511
株式報酬取引	—	—	—	—	16,173	16,173	—	16,173
自己株式の取得	—	—	—	△14	—	△14	—	△14
所有者との取引額合計	—	—	—	△14	16,173	16,159	—	16,159
2020年9月30日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,228,172	△2,022	△634,517	23,071,871	1,155,298	24,227,169

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	740,099	138,225
減損損失	83,562	66,944
減価償却費及び償却費	460,751	407,325
金融収益及び金融費用(△は益)	32,942	75,524
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	51,202	△161,425
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,348	△69,675
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	21,266	67,986
その他	△281,464	△12,703
小計	1,104,009	512,200
利息及び配当金の受取額	4,680	7,870
利息の支払額	△5,601	△6,772
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△1,486,885	△155,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	△383,797	357,969
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△73,329	△136,264
無形資産の取得による支出	△49,414	△23,313
子会社の取得による支出	△20,729	△53,282
事業譲受による支出	△43,769	—
その他	60,966	10,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,274	△202,802

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△40,000
リース負債の返済による支出	△321,356	△292,218
自己株式の取得による支出	—	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321,356	△332,232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△831,427	△177,065
現金及び現金同等物の期首残高	22,756,245	23,105,395
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△28,461	△499,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,896,356	22,428,686

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

### 1. 報告企業

クックパッド株式会社(以下、当社)は日本に所在する企業です。2020年9月30日に終了した9ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社(以下、当社グループ)により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

### 2. 作成の基礎

#### (1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に定める要件を満たしており、「指定国際会計基準特定会社」に該当しますので、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

なお、要約四半期連結財務諸表は、年度の連結財務諸表で要求されている全ての情報を含んでいないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

#### (2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

#### (3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

### 3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、他の記載がない限り、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積平均年次実効税率を用いて算定しています。

### 4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

### 5. セグメント情報

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする」事業の単一セグメントとなるため、事業分野ごとの収益、損益及びその他項目の記載を省略しています。

### 6. 後発事象

該当事項はありません。

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。